

正誤表

本書 27 ページ 2 コマ目のスライド画像に誤りがございました。

正しい画像は下記となります。お詫びして訂正いたします。

竹内先生をはじめ、関係各位の皆様に深くお詫び申し上げます。

誤

直接線と散乱線

- 透視野には絶対に手を入れない。
- 透視野に手を入れる術者を信じない。
 - 透視野へ手を入れる：『直接線』での被曝
 - 水道の蛇口から出ている水に直接触れるイメージ。
 - 放射線でビショビショになってしまいます。
 - 通常の術者被曝：『散乱線』での被曝
 - 蛇口から出ている水の近くに手を持っていくイメージ。
 - 放射線のごく一部が撥ねて皮膚が湿る程度。



正

効果

Wong GY (US): Effect of neurolytic celiac plexus block on pain relief, quality of life, and survival in patients with unresectable pancreatic cancer; a RCT
JAMA 291(9):1092-1099, 2004

方法

- 二重盲検、単施設RCT (Mayo Clinic)、100例
- CPB対薬物単独 (sham)
- 評価) ①疼痛強度 ②QOL ③生存

結果

- 術後1週目の除痛はCPB群で多かった ($p=.005$)
- 術後6週間で中等度以上の疼痛はCPB群で少 (14 vs 40%, $p=.005$)
- QOLと生存は両群で有意差なし

結論

CPBの疼痛緩和効果が示された